

「地域環境活動演習」「国際環境活動特別演習」 2021年度アンケート結果

1. 学域「地域環境活動演習」

履修生数：19名

回収枚数：18名

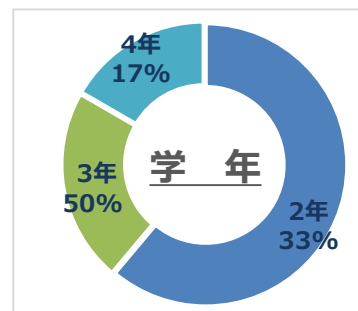
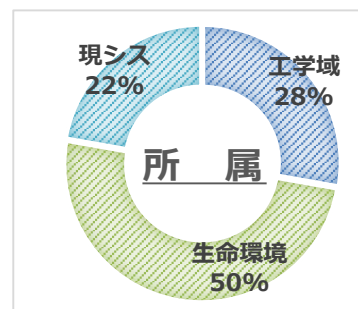
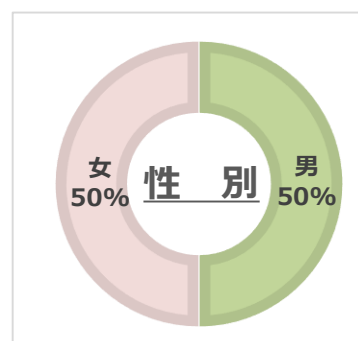
アンケート実施日：2021年12月11日（土）

*合同発表会開催日

◆履修生の属性◆

	工学域	生命環境 科学域	現シス 科学域	計
男	5	3	1	9
女	0	6	3	9
計	5	9	4	18

学年	工学域	生命環境 科学域	現シス 科学域	計
2年	1	8	2	11
3年	2		2	4
4年	2	1		3
計	5	9	4	18



(1)「地域環境活動演習」を終えて

期待通りだった	17名
期待とは違った	1名
無回答	0名

区 分	感 想
期待通りだった	<ul style="list-style-type: none"> ◆この演習を通して環境学についてだけではなく、自分自身の寛容力と協調性も明らかに向上しました。これは一生使える貴重な体験になりました。 ◆現地で実際に活動できたのが非常に良かったです。 ◆コロナウイルスの影響で活動時間が限られてしまったが、野外調査や結果の解析、プレゼン作成などを通して、自然環境を評価する手法を身につけたり、外来種問題に対する知識、意識が向上した。 ◆私は外来種の調査を行ったのですが、それを通じて自分の普段生活している環境が問題を内包していると気が付くことができて良かった。 ◆いくつかのグループに分かれて活動を行い、最後に発表会を行ったことで、色々な活動を経験した人達から意見をもらい、自分のグループの活動がより有意義になったと思う。 ◆座学だけではなく、実際に現場に出て活動を行うことで、目的の設定から手順までの流れ、環境問題が自身にとって身近なものだと分かった。自分が想定していたものとは異なる結果や現実を知れたことも良かったです。ミーティングや学生課、施設課への提案、現場調査等、かなり大変でしたが、やりがいがありました。役割の分担が難しかったです。 ◆活動自体は非常に良い経験となりました。報告会で先生方からのコメントが目立っていたのが気になりました。専門家の皆さんからのコメントなので、良質で高尚なコメントで溢れていましたが、FB されても次に活かせる機会がないのは残念であった。全体で2回、発表の場を設けるとプレゼン力、発表力の推移がみられるのではないかと。プレゼンの様子をビデオで撮影して、後でアップすると僕ら側も反省できて、これからのためになるのではと思いました。半期分の成績評価ではなく、年間分（若しくは4単位）で見ても良いと思いました。 ◆環境学を机上で学ぶ機会が多いですが、今回の活動のように、実際に生で体験し、活動することによって多様な人の環境に関する考え方を知り、肌で環境問題の現状について学ぶことができました。この体験は自分にとって、かけがえのないものとなると思います。 ◆自分の興味のあるテーマについて学ぶことができて良かった。院生の上手な発表を聞いて勉強になった。座学ではなく、演習という形での授業で色々なスキルが身についた。 ◆座学ではなく、実際に活動を通して学ぶことがほとんどだったので、自分で考えて動くことやコミュニケーションなど、普段学べないことをたくさん学べた。 ◆環境のことだけではなく、社会的マナーなど様々なことを学ぶことができました。大変だったけど、達成感がありました。 ◆活動演習を通して、身近な環境について考えるよい機会となった。対面での活動が難しい時期もあったが、臨機応変に対応して活動できたと思う。 ◆地域の環境について考え、活動するという点では思っていたことができたと思う。 ◆ミーティングなどの時に、グループメンバーの意見や取り組みが刺激的でした。他のグループの発表や質疑応答も興味深かったです。発表をして教授の方々や学生から質疑を受ける機会が貴重だったので勉強になりました。 ◆他の班の発表を聞いて同じ授業をとっているにも関わらず、各自違った貴重な経験を得たのだとわかった。 ◆私は1年間E~キャンパスの会のメンバーとして環境報告書を作成しましたが、様々な作業に参加できて勉強になりました。 ◆どの班もプレゼン力が高く、すばらしい発表でした。他の人の活動を聞いて、自分のこれからの活動に生かしていきたいなと思いました。
期待とは違った	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コロナ禍ということもあって、フィールドワークが出来ないことはわかっていたので、正直そんなに期待はしていなかったが、環境についての理解は大きく深まり、この活動を広く周知していく必要があることがわかった。

(2) 環境に対する意識の変化

大いに变化した	12名
少しだけ变化した	6名
あまり变化しなかった	0名

区 分	具体的な内容
大いに变化した	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活でよく見られる動植物は外来種であり、私たちの環境に大きな影響を与えます。そして、猫も非常に大きな影響を与えました。 ◆大阪府立大学中百舌鳥キャンパス内を散策することで、今まで4年間知ることのなかった様々な自然が構内に存在することを知った。キャンパス内だけでも、多種多様な生物が生息しており、生態系が形成されていると知った。以上のことから、森林や野山だけでなく、身近な自然保護すべきだと意識が改まった。 ◆様々な活動が行われ、その活動の報告を聞き、環境に対する視野が広がったと思う。 ◆ごみといえば、「ポイ捨て」と思っていたが、今まで道具として使われていたものが本来の目的と異なり、ごみとして放置されているものが多くあると思いました。 ◆環境問題の現状を実際に肌で感じられたことで、より危機感を持つことができました。今回の演習を通して、府大で実施されていること多様な環境活動について知ることができ、今後自分は環境活動として何ができるのか考える材料にしたいと思います。 ◆目黒巻という得体の知れないものが、防災教育ツールであること、防災意識の向上について大きく貢献できるものであることを理解できたのは当然であることに加え、他のグループ発表でも環境に対する知見が得られて、社会に還元していくことが必要であると考えた。 ◆外来種問題について考えることができ、環境に対する関心が高まるとともに、その分野での研究室に所属したいと感じた。 ◆今回、環境について学ぶ側であり、教える側でもあったので環境についてより意識ができた。 ◆とても変化しました。SDGsに対する理解などが深まりました。 ◆大学の身近な環境活動に興味を持つようになりました。 ◆環境学の副専攻をとっている人と一緒に演習を行うことができたため、相に高め合って意識を向上していったと思います。
少しだけ变化した	<ul style="list-style-type: none"> ◆実際に体験するというのが印象的で効果的であると感じました。 ◆自分で環境に関する調査を行うことで、環境問題をより身近な問題であると認識することで環境意識が変わった。 ◆先生方へのインタビューや調査を通して、今後、自分自身の行動を変えていく必要があると思った。省エネに努めることは個人でもできることなので実践したい。 ◆今まであまり気にしていなかった問題に目を向けられた。 ◆今回、校内の加工品廃棄物に着目したけれど、大学外でも意識するようになりました。また、環境問題に対して原因、対策を考え、活動の目的が重要であることを学びました。 ◆環境教育により興味をもつことができた。特に大塚班の発表での「運営面だけでなく技術面、知識面について考えておくべきだった」という反省が印象的だった。

(3) 「地域環境活動演習」の改善点、気付いた点

- ◆コロナウイルスの影響で活動は少ないです。将来もっと活動できることを期待しています。
- ◆今回のように、各班で異なる話題の発表によって、新たな発見が多かったと思います。
- ◆コロナウイルスの影響もあったが、もっと皆（他班も）で集まる機会があれば良いと思った。中間報告会などを設けることで、スケジュールにメリハリがついたり、その中でコメントをもらうことで最終報告に向けて修正が行えたりするのではと思った。自分の班は工学域の4年生が固まっており、卒業研究でなかなか集まれなかったり、知識や意見が偏ったりしてしまったので、（本来、上回生が受講することは想定されていないが）各班に様々な所属の人を分配すべきだと思った。
- ◆コロナでオンラインとなることも多く、実際に調査を行わずにインターネットなどの調査になってしまう点が残念だったので、オンラインになってしまった場合でも上手く活動できるようになれば良かったと感じた。
- ◆様々な活動が行われ、その活動の報告を聞き、環境に対する視野が広がったと思う。
- ◆後藤先生の班は、自分達で活動テーマを決めることが出来たので本当に自分達がやりたいことを考えて、取り組むことが出来ました。他の先生方の活動では、活動内容が決まっていた受動的になってしまう人もあると思うので、自分達で活動内容を決められるグループをもっと増やしても良いと思います。
- ◆シラバスにはあるものの、全体のスケジュールがそこまで機能していないように思えました。詳細も含め、もっと事前から共有しても良いのではと思いました。昨年、それ以前の様子を知らないですが、「毎年の流れ」化していないでしょうか。先生方にとっては恒例でも、僕らは1度しか受けられないものなので、もっとこちらの主体性の芽を育てるようなものになればと思いました。
- ◆よりデータを用いる必要性があると感じた。そうでなくとも、より論理的に詰められるところがあったのではないかなと思いました。
- ◆窓口担当を決めてグループ内に連絡を回していたのにも関わらず、グループ全員が期限の日程などを把握できていないこともあったので、全員に連絡しても良いと思った。コロナの影響で活動が少なくなったのが残念だった。
- ◆昨年度と同じことを多くしてしまったので、新しく企画する力もつけたいと感じた。
- ◆役割分担を最初に決めたのが、やりやすくて良かったです。
- ◆班ごとに活動内容が異なっており、自分のグループの他にも興味深いテーマがあったため、複数の活動チームに参加（時期をずらして、半期ごとになど）できたらと思った。
- ◆内容はバラエティーに富んでいて良かったと思う。
- ◆前後期にわたるので、中間報告会などがあれば最後の報告会がもっと良いものになるのかなと思いました。
- ◆「環境」という広いテーマを扱い、グループごとに発表内容や視点が違って面白かった。当日の発表以前にスライドの資料の公開が可能であれば、より内容理解が深まると思った。
- ◆1年のスケジュールを予め分かっていたら、予定が組みやすくて良いと思います。
- ◆昨年同じ活動を行った人からアドバイスや、今年出た課題を来年の受講生へと引継ぎができるようにしていただけたら有難いと思いました。

(4) 「副専攻」全体について、感想等をお聞かせください。

- ◆環境問題はずっと人類の発展の重要な課題です。社会の一員として私たちは今の生活と仕事の中で意識的に私たちの環境を守るべきです。
- ◆いずれもSDGsというのが、かなり意識されているように思いました。

- ◆工学を専攻しているため、環境をテーマとした学習は義務教育（小・中）の範囲にとどまっていたが、副専攻を通して、大学レベルの学習を行うことができ良かった。また、座学だけではなく、実地調査や資料作成を行うことで、学習した知識を活用できたのが非常に有意義だと感じた
- ◆環境問題だけでなく、環境に関する知識全般について幅広く学ぶことができ良かった。
- ◆私はマネジメント学類ですが、大学で環境についても深く学びたいと考えていたので、環境学を副専攻で学べて良かったです。日本に限らず、世界が抱えている問題についても知ることが出来て、自分の環境に対する知識が深まり、世界の環境を向上させられる仕事したいと思いました。
- ◆私は副専攻「地域再生 CR」を専攻しましたが、フィールドワークやグループディスカッションをする機会が多く、自分一人でなかなか体験できないような貴重な時間でした。ありがとうございました。
- ◆環境学の知見を社会に還元する必要があると思うので、そこを実践したり出来ると良いなと思った。
- ◆異なる所属の先生方から学ぶことができ、多様な角度から環境について考えることができたのが良かった。
- ◆自分の専門の視点以外から、環境問題について考えられて良かった。
- ◆環境に対する認識が深まりました。今後の学習や研究、人生に生かしたいと思いました。
- ◆環境システム学類に所属しているため、副専攻についてはあまり意識しなかった。
- ◆それぞれの授業でも通ずる内容があって、環境について理解を深めることができました。
- ◆高校まででとどまっていた「環境」に対するイメージや理解度が磨かれたと思う。
- ◆大学に入ってから、環境というテーマについて様々な面から学ぶことができ楽しかったです。
- ◆「環境・生命・倫理」の授業では、環境に関する内容だけでなく医療分野の倫理について学ぶことができたり、「環境学と社会科学への招待」では、エネルギーなど社会の分野も学ぶことができたため、環境学の副専攻では幅広い分野を学ぶことができ良かったです。副専攻全体については、人気の科目の履修をすることが難しい点を改善していただきたいです。

2. 大学院「国際環境活動特別演習」

履修生数：4名

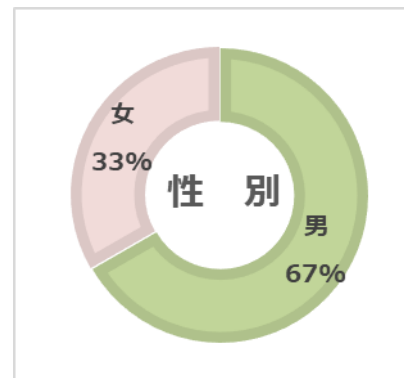
回収枚数：3名

アンケート実施日：2021年12月11日（土）

*合同発表会開催日

◆履修生の属性◆

	工学	人社シス	生命環境	計
男		1	1	2
女	1			1
計	1	1	1	3



(1)「国際環境活動特別演習」を終えて

期待通りだった	0名
期待とは違った	3名

区分	感想
期待とは違った	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナウイルスの影響で仕方ないが、“国際”要素がうすかったのが残念でした。 ◆コロナでベトナムへ行けなかったのが仕方ないのだが、“国際”の要素がなかったのが残念だった。大阪湾や広島に実際に行くことができ良かった。 ◆ベトナムで環境活動が出来なかったことに心残りではありますが、大阪湾調査や広島への視察など出来る範囲で環境活動が行えて良かったです。

(2) 環境に対する意識の変化

大いに变化した	0名
少しだけ变化した	3名
あまり变化しなかった	0名

区分	具体的な内容
少しだけ变化した	<ul style="list-style-type: none"> ◆エコツアーに初めて参加したので、実際に行われている環境教育を体験できたのは良かった。地域住民の参加の重要性を感じた。 ◆身のまわり、地元の環境について調べてみようと思った。 ◆海の環境について知る良いきっかけになったし、そこで得た知識を意識的に調べるようになった。

(3) 「国際環境活動特別演習」の改善点、気付いた点

- ◆スケジュールの変更が多かったので、戸惑いました。
- ◆コロナで仕方がなく自分もできなかったが、学生主体でもっと積極的に進めてもよかったかもしれない。
- ◆環境活動に乗かって活動してしまって、前提知識があまりない状態で活動してしまったので、しっかり知識を得てからの活動にすべきだった。

(4) 「国際環境活動プログラム」全体の感想等

- ◆ベトナムに行けなかったのは残念でしたが、2つの環境活動を実施できたので良かったです。
- ◆自分で学ぼうとすると機会も内容もなかなか難しく、貴重なことが大学院の授業を通して学ぶことができ良かった。特に、私の専攻は全く異分野だが、将来のためにも門戸を開放していただき、ありがとうございました。
- ◆ベトナムに行きたかった。ただ、ベトナムで得れない経験もできたので良かったです。ありがとうございました。



